

## はじめに

今回の書籍を出版するにあたり、このコロナ禍での日本政府の考え方や施策、そしてそれを従順に守っている飲食業をはじめ、ピンチに立たされている経営者に対して、従来の日本企業が大切にしてきた経営の本質、家族主義を貫き通してきた社員への想い、そして長きにわたりお客様に貢献しつづける姿勢を今一度再確認することを軸に経営者のみならず、未来の経営思考のある方々へのメッセージとして筆をとりました。

現在、渋沢栄一をはじめ、世界史から見た奇跡の時代を築き上げた公益資本主義という考え方が令和の時代となり急スビードで日本全土に広がってきている。経世済民とは何なのか、そしてドラッカーは何故、日本企業こそが究極の資本主義と言ったのか、戦後のGHQのWGIPにより自虐史観を持ち、本来は世界中で類例を見ないほどの精神性の強さを持ち合わせた民族にもこだわらず日本という国に誇りを持ってなくなっていることがアジア諸国から見るとどれだけ歯痒いのか。

日本の歴史背景や事実を基盤としながら、民族の誇りや先人の方々が残してくれた魂という財産を紐解くことにより、これからの時代主流になっていく、日本型経営の真髄を伝えると共に、今耐え忍

んでいる経営者の一助になれば幸いと思ひメッセージを伝えさせていただきます！

林  
正孝